

令和8年2月6日

各関係機関の長 殿

金沢大学医薬保健研究域薬学系長

加藤 将夫

金沢大学新学術創成研究機構「次世代医療創成研究コア：マイクロバイオーム研究ユニット」  
テニュア・トラック教員（准教授又は助教）候補者の公募延長について（依頼）

謹啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

金沢大学では、平成27年4月から「新学術創成研究機構」を設置し、新しい学問分野・学問領域の創成につながる学問分野融合型研究を推進しています。

このたび、下記の要項によりテニュア・トラック教員（准教授又は助教）の公募を行うことになりました。つきましては、貴機関関係者への周知及び適任者の推薦についてご高配を賜りたくお願い申し上げます。

#### 記

(1) 公募人員：テニュア・トラック教員（准教授又は助教）1名

※所属：新学術創成研究機構「次世代医療創成研究コア：マイクロバイオーム研究ユニット」及び医薬保健研究域薬学系「生命恒動学研究分野」  
(ユニットリーダー及び分野主任 倉石貴透教授)

※任務：上記研究ユニットにおいて、「若手主任研究者（若手PI）」として研究ユニットの研究推進に中心的な役割を担うとともに、医薬保健研究域薬学系の教員としての職務も担う。

※任期：原則5年間（本学に在職中のものが継続して本教員となる場合の任期は、  
その在職期間も通算して10年を超えない範囲）

※再任制度：(9)に記載

※インセンティブ：研究経費として年間50万円程度（5年間）を措置する予定

(2) 公募領域：

①教育：学士課程の共通教育並びに医薬保健学域薬学類及び医薬科学類の講義、演習、実習、

卒業研究及び大学院医薬保健学総合研究科における専門教育と研究指導を担当する。英語による授業担当が課される場合がある。

②研究: 自然免疫学や腸管機能学を基盤とし、モデル生物を用いた遺伝学的解析により宿主-微生物間相互作用もしくは環境・感染応答の普遍的原理を探求する研究を対象とする。独創性の高い研究を展開できる人材を求める。

(3) 着任(採用)時期: 令和8年10月1日以降のできるだけ早い時期

(4) 応募資格

博士の学位を有すること(着任までの取得見込みも含む)。自然免疫学もしくは腸管機能学に関連する分野で優れた研究実績を有し、着任後も上記の公募領域で高いレベルの教育・研究活動を推進できること。また、上記の講義等を担当でき、学士課程並びに大学院博士課程及び博士(前・後期)課程における教育に情熱を注げること。

(5) 提出書類:

- ①履歴書(A4判、写真貼付、電子メールアドレスと所属学会も明記すること)
- ②これまでの研究概要(自由形式、A4判、3枚以内)
- ③着任後の薬学教育と研究に関する抱負(自由形式、A4判、2枚以内)
- ④研究業績目録(A4判)
  - ・論文発表: 原著論文、総説、著書、その他に分け、発表年順に記載すること(別刷を提出する原著論文には○印を付すこと)。共著者全員の氏名を掲載順に記載し、応募者に下線、責任著者にスターマークをつけること。参考のため、被引用数並びに掲載誌の最新のImpact Factorを付記し、査読無の論文についてはその旨を明記すること。
  - ・学会発表: 学会・シンポジウム等での招待講演のみについて発表年順に記載すること。
  - ・研究費の取得状況: 過去10年間の取得状況を科研費、科研費以外の公的研究資金、企業・財団等による研究資金に分け、資金名、研究課題名、期間、助成金額を記載すること。また、代表と分担を明記すること。
  - ・教育実績: 大学等教育研究機関での教育経験並びに大学院等における教育研究指導実績について記載すること。
  - ・その他: 特記事項があれば記載すること。
- ⑥主要な原著論文5編以内

- ⑦応募者について問い合わせ可能な方2名の氏名、所属、連絡先(住所、電話番号、電子メールアドレス)

なお、応募者には講演(英語による発表を含む。)や面接のためにご来学頂くことがあります。その際にかかる経費は応募者でご負担願います。

また、提出して頂きました履歴書等の書類は当該選考委員会において個人情報に留意して処理いたします。

(6) 応募締切：令和8年4月17日(金) 17時(必着)

(7) 書類提出先(E-mailにて受け付けます)

事務担当：金沢大学医薬保健系事務部薬学・がん研支援課企画総務係

E-mail: y-somu@adm.kanazawa-u.ac.jp, Tel: 076-234-6840

※すべての提出書類について、PDFファイルへ変換し、一つの圧縮ファイルにまとめ、上記の事務担当アドレス宛に、【新学術創成研究機構准教授又は助教応募】という件名でE-mailで送付してください。添付ファイルが10MBを超える場合は、ファイル送信サービス等を利用して提出してください。

メール受取後、事務担当から受取の連絡をいたします。2営業日を経過しても受取連絡の返信がない場合は、事務担当まで電話連絡願います。

(8) 問い合わせ先

金沢大学医薬保健研究域薬学系 推薦委員会委員長 教授・倉石 貴透

TEL: 076-234-4423, E-mail: tkuraishi@staff.kanazawa-u.ac.jp

(9) その他

※再任制度について

研究・教育業績に係る学内審査の結果に応じて、任期満了後にテニュアを付与します。

テニュア付与基準の概略：

- 1) 国内外で、当該分野における研究成果が特に優れていると認められること
- 2) 適正に計画された研究計画(研究ユニットとしての計画を含む)が達成されていること
- 3) 十分な競争的研究資金を獲得し、研究を遂行していること
- 4) 学生に対する教育成果(研究指導や講義内容等)が優れていると認められること 等

※金沢大学では、教員の英語による教授能力の向上、英語による開講科目の増設等を前提とした英語教育の強化に取り組んでおります。

※金沢大学では、ダイバーシティ研究教育環境の整備を推進しています。詳しくは下記のURLをご覧下さい。

<https://ipdi.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

※男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、薬学系では女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

※給与は、年俸制が適用されます。

※給与や任期等に関する規程の詳細は、下記の URL をご覧下さい。

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/administration/regulation/rules>

※大学院新学術創成研究科・融合科学共同専攻(助教は博士前期課程のみ)の専任教員として、教育に参画いただく可能性がありますので、ご留意願います。